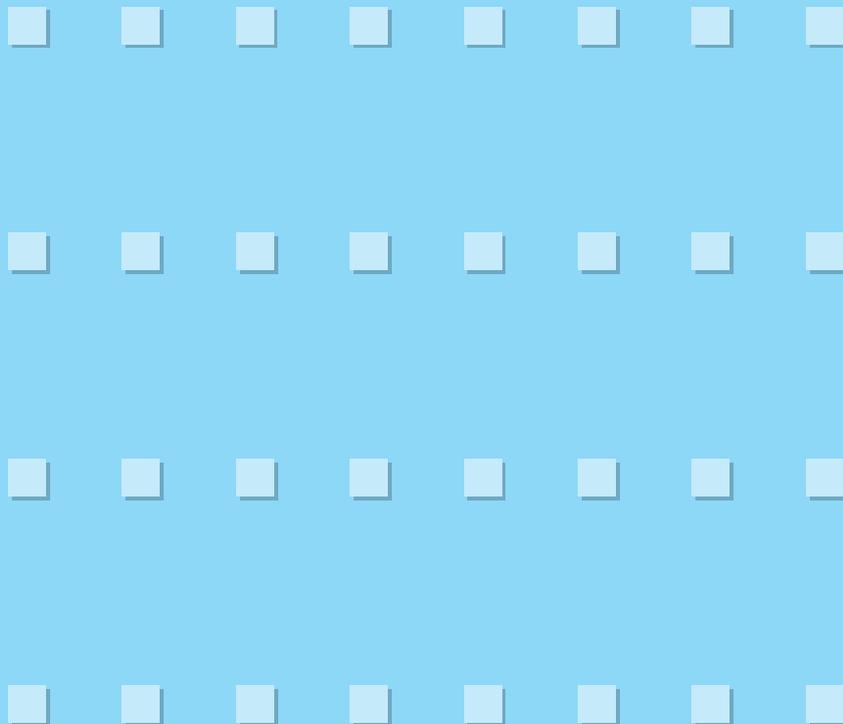


# VII

『学習のしおり2014』より再掲（参考）

## 2013年度からの 変更点について

（対象：2012年度以前入学者）



# 1

## 2013年4月からのカリキュラム変更・各種制度の変更について

2013年4月からカリキュラム・各種制度を変更しています。これに伴い、一部の科目を新しいカリキュラムの科目に読替えます。また、変更にあたり経過措置を設ける場合があります。変更等の内容は、P.128以降を参照してください。

これらの科目読替え・制度変更は、特に記載があるものを除いて、前期生・後期生を問わず、通信教育部に在籍する全ての方を対象に、2013年4月から適用されています。2013年4月以降に復籍・再入学された方も新しいカリキュラムが適用され、復籍・再入学前に単位を修得した科目を読替える場合があります。

なお、ここに掲載する内容は、これまでに『2013年4月大きく変わる法政大学通信教育部～カリキュラム変更に伴う科目読替え・経過措置等について（お知らせ）～』等でお知らせしたものをまとめたものです。

また、2013年4月からのメディアスクーリングの拡充をはじめとした各種制度の変更については、次頁を参照してください。

## ●各種制度の変更の概要

項 目	変更の概要
メディアスクーリングの拡充・開講形態の変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアスクーリングの科目数の増加（2013年度から5カ年計画）</li> <li>・市ヶ谷キャンパスでの最終講義・最終試験の廃止 （試験は「メディアスクーリング試験」又は「レポート試験」として実施）</li> </ul>
卒業論文に関する変更 ※2014年3月卒業から	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業要件を充足した場合は、本人の意思にかかわらず卒業〈法・経済学部〉 （ただし、年度途中で卒業する場合は申請が必要）</li> <li>・「卒業申請」手続の廃止〈全学部〉</li> </ul>
年間履修単位数の上限の変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間履修単位：49単位まで（2012年度までは40単位） ※教職・資格科目履修時は、合計60単位まで</li> <li>・年間スクーリング登録単位：49単位まで（2012年度までは36単位） ※49単位には教職・資格科目を含む</li> </ul>
スクーリングの変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週末スクーリングの拡大</li> <li>・ゴールデンウィーク（GW）スクーリングの新設</li> <li>・地方スクーリングの開講場所の変更（札幌・仙台・名古屋・大阪・福岡）</li> </ul>
学習フォロー体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信学習のシラバスの作成・公表</li> </ul>
レポート提出の変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の同一科目・設題の提出回数：3回まで</li> <li>・年間のレポート受付回数：12回（2012年度までは15回）</li> </ul>
単位修得試験の変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験結果が不合格の場合のみ同一科目の再受験が可能 （ただし、試験結果が判明しない場合は再受験が可能）</li> <li>・試験に欠席した場合は次回以降の受験が可能</li> <li>・試験範囲の事前公表（適切と判断した科目のみ）</li> </ul>
在学年限（12年）の見直し	<p>〈2002年度以前入学者、2003年度2・3年次編入学者、2004年度3年次編入学者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度以降に「卒業計画書」の提出</li> <li>・在籍期間は最長2026年度末まで</li> </ul> <p>〈2003年度以降入学者〉（2003年度2・3年次編入学者、2004年度3年次編入学者を除く）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「再度の入学」制度の導入</li> <li>・「再度の入学」後の在学期間は、休学期間を除き12年</li> </ul>
スクーリング受講料の改定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディア：1科目20,000円（2012年度までは30,000円）</li> <li>・春・夏・秋・冬期、週末、（GW）：1科目15,000円（2012年度までは10,000円） ※地方スクーリングは据え置き（1科目20,000円）</li> </ul>

## (1) 教養課程 (一般教育科目、外国語及び保健体育科目)

### 《2013年4月から》

一般教育	36単位以上
人文分野	2科目8単位以上
社会分野	8単位以上
自然分野	4科目8単位以上
基礎特講	最大4単位まで
放送大学単位認定科目	最大10単位まで
外国語	1外国語4単位 (うちスクーリング2単位以上)
保健体育	2単位
合計	42単位

必修	選必	選択	授業科目	構成単位	履修学年	備考
			人文分野			
	○		文学	4	1	}
	○		西洋史	4	1	
	○		日本史	4	1	
	○		哲学	4	1	
	○		東洋史	4	1	
	○		論理学	4	1	
			社会分野			
	○		法学 (日本国憲法)	2	1	}
	○		法学	2	1	
	○		経済学	4	1	
	○		人文地理学	4	1	
	○		自然地理学	4	1	
	○		政治学概論	4	1	
	○		社会学	4	1	
	○		文化人類学	4	1	
	○		心理学	4	1	
	○		心理学	4	1	
			自然分野			
	○		数学1	2	1	}
	○		数学2	2	1	
	○		数学3	2	1	
	○		生物学1	2	1	
	○		生物学2	2	1	
	○		生物学3	2	1	
	○		化学1	2	1	
	○		化学2	2	1	
	○		化学3	2	1	
	○		物理学1	2	1	
	○		物理学2	2	1	
	○		物理学3	2	1	
	○		基礎特講	2	1	
			放送大学単位認定科目			
			外国語科目			
	○		英語2	2	1	}
	○		英語3	2	1	
	○		英語S	1×2	1	
	○		独語1	2	1	
	○		独語S	1×2	1	
	○		仏語1	2	1	
	○		仏語S	1×2	1	
			保健体育科目			
	○		健康・スポーツ科学概論	2	1	}
	○		スポーツ総合演習	2	1	

※2013年3月末で廃止：地理学、自然科学史 (2013年4月以降経過措置あり)  
 ※地理学を履修途中・修得済の場合、人文地理学、自然地理学を履修することはできません。

## 《2013年3月まで》

一般教育 36単位以上

人文分野	2科目8単位以上
社会分野	2科目8単位以上
自然分野	2科目8単位以上
基礎特講	最大4単位まで
放送大学単位認定科目	最大10単位まで
外国語	1外国語4単位（うちスクーリング2単位以上）
保健体育	2単位
合計	42単位

必修	選必	選択	授業科目	構成単位	履修学年	備考
			人文分野			
	○		文学	4	1	} 2科目8単位以上 必修
	○		歴史Ⅰ（西洋史）	4	1	
	○		歴史Ⅱ（日本史）	4	1	
	○		哲学	4	1	
	○		心理学	4	1	
			社会分野			
	○		法学（日本国憲法2単位含む）	4	1	} 2科目8単位以上 必修
	○		経済学	4	1	
	○		地理学	4	1	
	○		政治学概論	4	1	
	○		社会学	4	1	
	○		文化人類学	4	1	
			自然分野			
	○		数学	4	1	} 2科目8単位以上 必修
	○		生物学	4	1	
	○		化学	4	1	
	○		物理学	4	1	
	○		自然科学史	4	1	
		○	基礎特講	2	1	4単位まで履修可
			放送大学単位認定科目			最大10単位まで
			外国語科目			
	○		英語2	2	1	} いずれか 1外国語4単位 (うちスク2単位以上) 必修
	○		英語3	2	1	
	○		英語S	1×2	1	
	○		独語1	2	1	
	○		独語S	1×2	1	
	○		仏語1	2	1	
	○		仏語S	1×2	1	
			保健体育科目			
	○		健康・スポーツ科学概論	2	1	} いずれか 1科目2単位
	○		スポーツ総合演習	2	1	

## カリキュラム変更に伴う科目読替え・経過措置（一般教育科目、外国語及び保健体育科目）

### 1. 科目の読替え・経過措置に関すること

2012年度のカリキュラム					2013年度以降（2013年4月1日以降）の取扱い					
必選区分			科目名称	構成単位	履修学年	変更内容 （詳細は右記参照）	2013年3月31日以前に、科目構成単位を修得した場合	2013年3月31日時点で、履修途中（※1）の場合	2013年3月31日時点で、学習未着手（※2）の場合	備考（※3）
必修	選択	選択								
人文分野（分野で2科目8単位必修）										
	○		文 学	4	1	※変更なし	-	-	-	-
	○		歴史Ⅰ （西洋史）	4	1	「西洋史」に名称変更する	変更なし （「歴史Ⅰ（西洋史）」を修得したものとする）	「西洋史」に変更する 学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる	「西洋史」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
	○		歴史Ⅱ （日本史）	4	1	「日本史」に名称変更する	変更なし （「歴史Ⅱ（日本史）」を修得したものとする）	「日本史」に変更する 学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる	「日本史」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
	○		哲 学	4	1	※変更なし	-	-	-	-
	○		心 理 学	4	1	社会分野に分野変更する	変更なし （人文分野の科目として取扱う）	2013年3月31日時点で履修途中の場合（レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出（免除を含む）がある場合に限り）は、《2年間の経過措置》（2015年3月31日まで）を設ける ①2015年3月31日（2014年度の最終の単位修得試験日・レポート提出日）までに4単位修得した場合は、変更なし（人文分野の科目として取扱う） ※この場合のレポート提出は、2014年度の成績対象となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日）までに提出されたものに限る ②2015年3月31日（2014年度の最終の単位修得試験日・レポート提出日）4単位修得しなかった場合は、2015年4月1日以降、社会分野の科目として取扱う（学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる）	社会分野の科目として履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、離籍（除籍又は退学）前に修得した単位を社会分野の科目で修得した単位として取扱う

社会分野（分野で8単位必修）

○	法学 (日本国憲法 2単位含む)	4	1	2単位科目(「法学 (日本国憲法)」「法 学」)に変更する	変更なし (「法学(日本国憲法 2単位含む)」を修得 したものとす)	2013年3月31日時点で履修途中の場合(レポートにつ いては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設 題以上の提出(免除を含む)がある場合に限る)は、 《2年間の経過措置》(2015年3月31日まで)を設ける  ①スクーリングで2単位修得済の場合 経過措置期間は、以下の学習を行うことができる ・「法学(日本国憲法2単位含む)」のレポート提出 ・「法学(日本国憲法2単位含む)」の単位修得試験 受験 ・「法学(日本国憲法)」のスクーリング受講 経過措置期間終了日までに、上記に合格し2単位 修得した場合、修得済の2単位と合計して「法学 (日本国憲法2単位含む)」4単位修得とする 経過措置期間終了日までに、2単位修得できない 場合、2015年4月1日付で、修得済の2単位の科目 を「法学」に読替える(履修途中の学習履歴がある 場合はその履歴を無効にする)  ②4単位を通信学習で履修途中の場合 経過措置期間は、「法学(日本国憲法2単位含む)」 のレポート提出及び単位修得試験ができる 経過措置期間終了日までに、4単位修得した場 合は有効(「法学(日本国憲法2単位含む)」4単位を 修得したものとす) 経過措置期間終了日までに、4単位修得しなかつ た場合は、学習履歴を無効にする	「法学(日本国憲法)」「 法学」を履修する	2013年4月1日以降 に復籍・再入学する 場合は、復籍・再入 学以降も、左記のと おり取扱う
○	経済学	4	1	※変更なし	-	-	-	-
○	地理学	4	1	科目を廃止する	変更なし (「地理学」を修得し たものとす)	2013年3月31日時点で履修途中の場合(レポートにつ いては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設 題以上の提出(免除を含む)がある場合に限る)は、 《2年間の経過措置》(2015年3月31日まで)を設ける  ①2015年3月31日までに4単位修得した場合は、有効 とする(「地理学」4単位を修得したものとす) ※この場合のレポート提出は、2014年度の成績対象となる最 終提出日(前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日) までに提出されたものに限る  ②経過措置期間終了日(2015年3月31日)までに4単 位修得しなかった場合は、学習履歴を無効にする	新規履修はできない	2013年4月1日以降 に復籍・再入学する 場合は、復籍・再入 学以降、左記のと おり取扱う

2012年度のカリキュラム					2013年度以降（2013年4月1日以降）の取扱い					
必選区分			科目名称	構成単位	履修学年	変更内容 (詳細は右記参照)	2013年3月31日以前に、科目構成単位を修得した場合	2013年3月31日時点で、履修途中(※1)の場合	2013年3月31日時点で、学習未着手(※2)の場合	備考(※3)
必修	選必	選択								
	○		政治学概論	4	1	※変更なし	-	-	-	-
	○		社会学	4	1	※変更なし	-	-	-	-
	○		文化人類学	4	1	※変更なし	-	-	-	-
自然分野（分野で8単位必修）										
	○		数 学	4	1	2単位科目に変更する 変更なし 〔「数学」を修得したものとする〕	2013年3月31日時点で履修途中の場合（レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出（免除を含む）がある場合に限る）は、《2年間の経過措置》（2015年3月31日まで）を設ける ①スクーリングで2単位修得済の場合 経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目（数学1・数学2・数学3）を2単位を修得した場合、修得済の2単位と合計して旧カリキュラム科目（数学）4単位修得と読替える（その際、新カリキュラムの学習履歴は消え、再度互換科目を履修することも可能となる） 経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目の単位が修得できない場合、2015年4月1日付で、新カリキュラムの読替え科目（数学3）の2単位として読替える（その場合、読替え科目の学習履歴も発生し、その後、数学3の重複受講はできない） ②4単位を通信学習で履修途中の場合又はスクーリングで2単位修得した後の残り2単位分を通信学習で履修途中の場合 経過措置期間に、レポート提出及び単位修得試験受験ができるレポート・単位修得試験に合格した場合は、4単位又は2単位修得したものとする 経過措置期間終了日までに4単位又は2単位修得できなかった場合は、学習履歴を無効とする	「数学1」「数学2」「数学3」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う	

○	生物学	4	1	2単位科目に変更する	<p>変更なし          (「生物学」を修得したものとす)</p>	<p>2013年3月31日時点で履修途中の場合(レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出(免除を含む)がある場合に限る)は、《2年間の経過措置》(2015年3月31日まで)を設ける</p> <p>①スクーリングで2単位修得済の場合          経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目(生物学1・生物学2・生物学3)を2単位を修得した場合、修得済の2単位と合計して旧カリキュラム科目(生物学)4単位修得と読替える(その際、新カリキュラムの学習履歴は消え、再度互換科目を履修することも可能となる)</p> <p>経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目の単位が修得できない場合、2015年4月1日付で、新カリキュラムの読替え科目(生物学3)の2単位として読替える(その場合、読替え科目の学習履歴も発生し、その後、生物学3の重複受講はできない)</p> <p>②4単位を通信学習で履修途中の場合又はスクーリングで2単位修得した後の残り2単位分を通信学習で履修途中の場合          経過措置期間に、レポート提出及び単位修得試験受験ができるレポート・単位修得試験に合格した場合は、4単位又は2単位修得したものとす          経過措置期間終了日までに4単位又は2単位修得できなかった場合は、学習履歴を無効とする</p>	<p>「生物学1」「生物学2」「生物学3」を履修する</p>	<p>2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う</p>
---	-----	---	---	------------	---	---	--------------------------------	---

2012年度のカリキュラム					2013年度以降（2013年4月1日以降）の取扱い					
必選区分			科目名称	構成単位	履修学年	変更内容 （詳細は右記参照）	2013年3月31日以前に、科目構成単位を修得した場合	2013年3月31日時点で、履修途中（※1）の場合	2013年3月31日時点で、学習未着手（※2）の場合	備考（※3）
必修	選必	選択								
	○		化学	4	1	2単位科目に変更する	変更なし （「化学」を修得したものとする）	<p>2013年3月31日時点で履修途中の場合（レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出（免除を含む）がある場合に限る）は、《2年間の経過措置》（2015年3月31日まで）を設ける</p> <p>①スクーリングで2単位修得済の場合 経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目（化学1・化学2・化学3）を2単位を修得した場合、修得済の2単位と合計して旧カリキュラム科目（化学）4単位修得と読替える（その際、新カリキュラムの学習履歴は消え、再度互換科目を履修することも可能となる） 経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目の単位が修得できない場合、2015年4月1日付で、新カリキュラムの読替え科目（化学3）の2単位として読替える（その場合、読替え科目の学習履歴も発生し、その後、化学3の重複受講はできない）</p> <p>②4単位を通信学習で履修途中の場合又はスクーリングで2単位修得した後の残り2単位分を通信学習で履修途中の場合 経過措置期間に、レポート提出及び単位修得試験受験ができるレポート・単位修得試験に合格した場合は、4単位又は2単位修得したものとする 経過措置期間終了日までに4単位又は2単位修得できなかった場合は、学習履歴を無効とする</p>	「化学1」「化学2」「化学3」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う

○	物理学	4	1	2単位科目に変更する	変更なし 〔「物理学」を修得した ものとする〕	<p>2013年3月31日時点で履修途中の場合（レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出（免除を含む）がある場合に限る）は、《2年間の経過措置》（2015年3月31日まで）を設ける</p> <p>①スクーリングで2単位修得済の場合 経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目（物理学1・物理学2・物理学3）を2単位を修得した場合、修得済の2単位と合計して旧カリキュラム科目（物理学）4単位修得と読替える（その際、新カリキュラムの学習履歴は消え、再度互換科目を履修することも可能となる） 経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目の単位が修得できない場合、2015年4月1日付で、新カリキュラムの読替え科目（物理学2）の2単位として読替える（その場合、読替え科目の学習履歴も発生し、その後、物理学2の重複受講はできない）</p> <p>②4単位を通信学習で履修途中の場合又はスクーリングで2単位修得した後の残り2単位分を通信学習で履修途中の場合 経過措置期間に、レポート提出及び単位修得試験受験ができるレポート・単位修得試験に合格した場合は、4単位又は2単位修得したものとする 経過措置期間終了日までに4単位又は2単位修得できなかった場合は、学習履歴を無効とする</p>	「物理学1」「物理学2」「物理学3」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○	自然科学史	4	1	科目を廃止する	変更なし 〔「自然科学史」を修得した ものとする〕	<p>2013年3月31日時点で履修途中の場合（レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出（免除を含む）がある場合に限る）は、《2年間の経過措置》（2015年3月31日まで）を設ける</p> <p>①2015年3月31日（2014年度の最終の単位修得試験日・レポート提出日）までに4単位修得した場合は、有効とする（「自然科学史」4単位を修得したものとする） ※この場合のレポート提出は、2014年度の成績対象となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日）までに提出されたものに限る</p> <p>②経過措置期間終了日（2015年3月31日）までに4単位修得しなかった場合は、学習履歴を無効にする</p>	新規履修はできない	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降も、左記のとおり取扱う

2012年度のカリキュラム					2013年度以降（2013年4月1日以降）の取扱い					
必修区分			科目名称	構成単位	履修学年	変更内容 (詳細は右記参照)	2013年3月31日以前に、科目構成単位を修得した場合	2013年3月31日時点で、履修途中(※1)の場合	2013年3月31日時点で、学習未着手(※2)の場合	備考(※3)
必修	選択	選択								
		○	基礎特講	2	1	※変更なし	-	-	-	-
			放送大学単位 認定科目			※変更なし	-	-	-	-
外国語科目（いずれか1外国語4単位（うちスクーリングで2単位以上）必修）										
		○	英語	2	2	1	※変更なし	-	-	-
		○	英語	3	2	1	※変更なし	-	-	-
		○	英語	S	1	2	1	※変更なし	-	-
		○	独語	1	2	1	※変更なし	-	-	-
		○	独語	S	1	2	1	※変更なし	-	-
		○	仏語	1	2	1	※変更なし	-	-	-
		○	仏語	S	1	2	1	※変更なし	-	-
保健体育科目（いずれか1科目2単位必修）										
		○	健康・スポーツ 科学概論	2	1	1	※変更なし	-	-	-
		○	スポーツ 総合演習	2	1	1	※変更なし	-	-	-

- ※1 「履修途中」とは、科目構成単位を充たしていないが、単位修得のための有効な学習履歴（レポート1設題以上の提出（免除を含む）、スクーリングによる単位修得のいずれかに限る）があることをいいます。なお、この場合のレポート提出は、上記に特に記載がある場合を除き、2012年度の成績対象となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日）までに提出されたものに限り、最終提出日後に提出された場合は、「履修途中」として取扱いません。
- ※2 「学習未着手」とは、単位修得のための有効な学習履歴（レポート1設題以上の提出（免除を含む）、スクーリングによる単位修得のいずれかに限る）がないことをいいます。なお、この場合のレポート提出がないことは、上記に特に記載がある場合を除き、2012年度の成績となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日）までに提出されていないことに限り、
- ※3 復籍・再入学においては、修得単位として評価を得られなかった履修途中科目の学習履歴は、復籍・再入学後に引き継がれません（従来どおり）。

## 2. その他

項目	変更内容等
科目の新設	2013年4月から、以下の科目を新設する 「人文地理学」「自然地理学」「東洋史」「論理学」
社会分野の卒業要件の変更	2013年4月から、以下のとおり変更する（2013年4月1日に在籍する全ての学生を対象に変更する） <変更前> 2科目8単位以上 <変更後> 8単位以上
自然分野の卒業要件の変更	2013年4月から、以下のとおり変更する（2013年4月1日に在籍する全ての学生を対象に変更する） <変更前> 2科目8単位以上 <変更後> 4科目8単位以上 ※ただし、変更前に旧カリキュラム科目で単位修得した場合は、旧カリキュラム科目（4単位）につき2科目履修したものとみなす この場合、「数学」「化学」「生物学」「物理学」「自然科学史」のうちの複数の分野の科目の単位を修得することを要する

## (2) 専門教育課程

### ①法学部法律学科

#### 《2013年4月から》

選択必修（科目構成単位を充たし8科目）	32単位	}	50単位 (卒業論文を選択しない場合は54単位)
選択必修（8科目32単位を超えた単位）			
選択（卒業論文を含む）			
合計	82単位 (卒業論文を選択しない場合は86単位)		

必修	選必	選択	授業科目	構成単位	履修学年	備考	
		○	卒業論文	4	4	8科目32単位必修 32単位を超えて取得した場合、選択科目の修得単位とする	
	○		憲法	4	2		
	○		民法総則	4	1		
	○		物権法	4	2		
	○		債権総論	4	3		
	○		債権各論	4	3		
	○		商法総則・商行為法	4	3		
	○		会社法	4	3		
	○		刑法総論	4	2		
	○		刑法各論	4	3		
	○		民事訴訟法	4	4		
	○		刑事訴訟法	4	4		
	○		国際法総論	4	3		
	○		行政法	4	3		
	○		労働法	4	3		
	○		国際法各論	4	4		
		○	教育法	4	3		
		○	親族法・相続法	4	3		
		○	民事執行法	4	4		
		○	法律学演習	2	3	8単位まで履修可	
		○	手形法・小切手法	4	3		
		○	保険法・海商法	4	3		
		○	英米法	2	2		
		○	日本法制史	4	3		
		○	倒産法	2	3		
		○	法哲学	2	2		
		○	政治学	2	2	4単位まで履修可	
		○	社会経済学A	2	4		
		○	社会経済学B	2	4		
		○	経済政策論A	2	4		
		○	経済政策論B	2	4		
		○	労使関係論	4	3		
		○	法律学特講	2	2	8単位まで履修可	
		○	総合特講	2	1	16単位まで履修可	
		○	情報科学実習	2	2	2単位まで履修可	
		○	総合外国語特講	2	2	2単位まで履修可	
		○	スポーツ特講	2	2	2単位まで履修可	
		○	(他学部・他学科公開科目)	2	2	16単位まで履修可	

## 《2013年3月まで》

選択必修（科目構成単位を充たし8科目）	32単位	}	46単位以上
選択必修（8科目32単位を超えた単位）			
選択			
卒業論文	4単位		
合計	82単位		

必修	選必	選択	授業科目	構成単位	履修学年	備考
○			卒業論文	4	4	
	○		憲法	4	2	
	○		民法一部（民法総則）	4	1	
	○		民法二部（物権法）	4	2	
	○		民法三部（債権総論）	4	3	
	○		民法四部（債権各論）	4	3	
	○		商法一部（総則・商行為）	4	3	
	○		商法二部（会社法）	4	3	
	○		刑法一部	4	2	
		○	刑法二部	4	3	
	○		民事訴訟法一部	4	4	
	○		刑事訴訟法	4	4	
	○		国際法一部	4	3	
	○		行政法	4	3	
	○		労働法	4	3	
		○	国際法二部	4	4	
	○		教育法	4	3	
		○	民法五部（親族法・相続法）	4	3	
		○	民事訴訟法二部	4	4	
		○	法律学演習	2	3	8単位まで履修可
		○	商法三部（手形・小切手法）	4	3	
		○	商法四部（保険法・海商法）	4	3	
		○	英米法	2	2	
		○	日本法制史	4	3	
		○	法哲学	2	2	
		○	政治学	2	2	4単位まで履修可
		○	経済原論	4	4	
		○	経済政策	4	4	
		○	労使関係論	4	3	
		○	法律学特講	2	2	8単位まで履修可
		○	総合特講	2	1	16単位まで履修可
		○	情報科学実習	2	2	2単位まで履修可
		○	総合外国語特講	2	2	2単位まで履修可
		○	スポーツ特講	2	2	2単位まで履修可
		○	（他学部・他学科公開科目）	2	2	16単位まで履修可

## カリキュラム変更に伴う科目読替え・経過措置（法学部法律学科）

### 1. 科目の読替え・経過措置に関すること

2012年度のカリキュラム					2013年度以降（2013年4月1日以降）の取扱い					
必選区分			科目名称	構成単位	履修学年	変更内容 （詳細は右記参照）	2013年3月31日以前に、科目構成単位を修得した場合	2013年3月31日時点で、履修途中（※1）の場合	2013年3月31日時点で、学習未着手（※2）の場合	備考（※3）
必修	選必	選択								
○			卒業論文	4	4	選択科目に変更する	選択科目に変更する ※修得済単位は選択科目として有効 ただし、2013年9月以前の卒業においては単位修得することを要する（従来どおり） ※2014年3月以降の卒業においては、単位修得不要（この場合、専門教育科目を86単位以上修得することを要する）	同左	同左	-
	○		憲法	4	2	※変更なし	-	-	-	-
		○	民法一部（民法総則）	4	1	「民法総則」に名称変更する	変更なし （「民法一部（民法総則）」を修得したものとする）	「民法総則」に変更する 学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる	「民法総則」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
		○	民法二部（物権法）	4	2	「物権法」に名称変更する	変更なし （「民法二部（物権法）」を修得したものとする）	「物権法」に変更する 学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる	「物権法」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
		○	民法三部（債権総論）	4	3	「債権総論」に名称変更する	変更なし （「民法三部（債権総論）」を修得したものとする）	「債権総論」に変更する 学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる	「債権総論」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う

○	民法四部 (債権各論)	4	3	「債権各論」に名称変更する	変更なし (「民法四部(債権各論)」を修得したものと する)	「債権各論」に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	「債権各論」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○	商法一部 (総則・商行為)	4	3	「商法総則・商行為法」に名称変更する	変更なし (「商法一部(総則・商行為)」を修得したものと する)	「商法総則・商行為法」に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	「商法総則・商行為法」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○	商法二部 (会社法)	4	3	「会社法」に名称変更する	変更なし (「商法二部(会社法)」を修得したものと する)	「会社法」に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	「会社法」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○	刑法一部	4	2	「刑法総論」に名称変更する	変更なし (「刑法一部」を修得したものと する)	「刑法総論」に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	「刑法総論」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○	刑法二部	4	3	「刑法各論」に名称変更する 選択必修科目に区分変更する	科目名称は変更しない 選択必修科目に変更する (「刑法二部」を選択必修科目で修得したものと する)	「刑法各論」(選択必修科目)に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	「刑法各論」(選択必修科目)を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○	民事訴訟法一部	4	4	「民事訴訟法」に名称変更する	変更なし (「民事訴訟法一部」を修得したものと する)	「民事訴訟法」に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	「民事訴訟法」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○	刑事訴訟法	4	4	※変更なし	-	-	-	-
○	国際法一部	4	3	「国際法総論」に名称変更する	変更なし (「国際法一部」を修得したものと する)	「国際法総論」に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	「国際法総論」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○	行政法	4	3	※変更なし	-	-	-	-
○	労働法	4	3	※変更なし	-	-	-	-

2012年度のカリキュラム					2013年度以降（2013年4月1日以降）の取扱い					
必選区分			科目名称	構成単位	履修学年	変更内容 (詳細は右記参照)	2013年3月31日以前に、科目構成単位を修得した場合	2013年3月31日時点で、履修途中(※1)の場合	2013年3月31日時点で、学習未着手(※2)の場合	備考(※3)
必修	選必	選択								
		○	国際法二部	4	4	「国際法各論」に名称変更する 選択必修科目に区分変更する	科目名称は変更しない 選択必修科目に変更する (国際法二部)を選択必修科目で修得したものとする)	「国際法各論」(選択必修科目)に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	「国際法各論」(選択必修科目)を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
		○	教育法	4	3	選択科目に区分変更する	変更なし (選択必修科目として修得したものとする)	変更なし (引き続き選択必修科目として履修する) 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	選択科目として履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、修得単位数の有無に関わらず、復籍・再入学以降、選択科目に変更する
		○	民法五部 (親族法・相続法)	4	3	「親族法・相続法」に名称変更する	変更なし (「民法五部(親族法・相続法)」を修得したものとする)	「親族法・相続法」に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	「親族法・相続法」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
		○	民事訴訟法二部	4	4	「民事執行法」に名称変更する	変更なし (「民事訴訟法二部」を修得したものとする)	「民事執行法」に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	「民事執行法」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
		○	法律学演習	2	3	※変更なし	-	-	-	-
		○	商法三部 (手形・小切手法)	4	3	「手形法・小切手法」に名称変更する	変更なし (「商法三部(手形・小切手法)」を修得したものとする)	「手形法・小切手法」に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	「手形法・小切手法」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
		○	商法四部 (保険法・海商法)	4	3	「保険法・海商法」に名称変更する	変更なし (「商法四部(保険法・海商法)」を修得したものとする)	「保険法・海商法」に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	「保険法・海商法」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
		○	英米法	2	2	※変更なし	-	-	-	-

	○ 日本法制史	4	3	※変更なし	-	-	-	-
	○ 法 哲 学	2	2	※変更なし	-	-	-	-
	○ 政 治 学	2	2	※変更なし	-	-	-	-
	○ 経 済 原 論	4	4	2単位科目 〔社会経済学A〕〔社会経済学B〕に変更する	変更なし 〔経済原論〕を修得したものとする)	<p>①スクーリングで2単位修得済の場合 「社会経済学B」を修得したものと読替える</p> <p>②スクーリングで2単位修得した後の残り2単位分について、通信学習で履修途中の場合 履修途中の学習履歴を「社会経済学A」に読替える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●レポートの読替え 「経済原論」の設題第1回の提出・合格 →「社会経済学A」の設題第1回の提出・合格</li> <li>●単位修得試験の読替え 「経済原論」の合格 →「社会経済学A」の合格</li> </ul> <p>※使用設題・問題の取扱い《2年間の経過措置》 2015年3月31日（2014年度最終の単位修得試験日・レポート提出日）まで、「経済原論」の設題・問題を使用する（経過措置期間終了日（2015年3月31日）以降は、「社会経済学A」の設題・問題を使用する）</p> <p>③通信学習でのみ履修途中の場合《2年間の経過措置》 2015年3月31日（2014年度最終の単位修得試験日・レポート提出日）までに4単位修得した場合は有効（「経済原論」4単位を修得したものとする） 経過措置期間終了日（2015年3月31日）までに4単位修得しなかった場合は、学習履歴を無効にする</p>	「社会経済学A」「社会経済学B」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う

2012年度のカリキュラム				2013年度以降（2013年4月1日以降）の取扱い						
必選区分			科目名称	構成単位	履修学年	変更内容 (詳細は右記参照)	2013年3月31日以前に、科目構成単位を修得した場合	2013年3月31日時点で、履修途中(※1)の場合	2013年3月31日時点で、学習未着手(※2)の場合	備考(※3)
必修	選必	選択								
		○	経済政策	4	4	2単位科目 〔「経済政策論A」「経済政策論B」〕に変更する	変更なし 〔「経済政策」を修得したものとする〕	<b>①スクーリングで2単位修得済の場合</b> 「経済政策論B」を修得したものと読替える <b>②スクーリングで2単位修得した後の残り2単位分について、通信学習で履修途中の場合</b> 履修途中の学習履歴を「経済政策論A」に読替える ●レポートの読替え 「経済政策」の設題第1回の提出・合格 →「経済政策論A」の設題第1回の提出・合格 ●単位修得試験の読替え 「経済政策」の合格 →「経済政策論A」の合格 ※使用設題・問題の取扱い《2年間の経過措置》 2015年3月31日(2014年度最終の単位修得試験日・レポート提出日)まで、「経済政策」の設題・問題を使用する(経過措置期間終了日(2015年3月31日)以降は、「経済政策論A」の設題・問題を使用する) <b>③通信学習でのみ履修途中の場合《2年間の経過措置》</b> 2015年3月31日(2014年度最終の単位修得試験日・レポート提出日)までに4単位修得した場合は有効(「経済政策」4単位を修得したものとする) 経過措置期間終了日(2015年3月31日)までに4単位修得しなかった場合は、学習履歴を無効にする	「経済政策論A」「経済政策論B」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
		○	労使関係論	4	3	※変更なし	-	-	-	-
		○	法律学特講	2	2	※変更なし	-	-	-	-
		○	総合特講	2	1	※変更なし	-	-	-	-
		○	情報科学実習	2	2	※変更なし	-	-	-	-
		○	総合外国語特講	2	2	※変更なし	-	-	-	-
		○	スポーツ特講	2	2	※変更なし	-	-	-	-
		○	※他学部・他学科公開科目	2	2	※変更なし	-	-	-	-

※注1 「履修途中」とは、科目構成単位を充たしていないが、単位修得のための有効な学習履歴(レポート1設題以上の提出(免除を含む)、スクーリングによる単位修得のいずれかに限る)があることをいいます。なお、この場合のレポート提出は、上記に特に記載がある場合を除き、2012年度の成績対象となる最終提出日(前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日)までに提出されたものに限り、最終提出日後に提出された場合は、「履修途中」として取扱いません。

※注2 「学習未着手」とは、単位修得のための有効な学習履歴(レポート1設題以上の提出(免除を含む)、スクーリングによる単位修得のいずれかに限る)がないことをいいます。

なお、この場合のレポート提出がないことは、上記に特に記載がある場合を除き、2012年度の成績対象となる最終提出日(前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日)までに提出されていないことに限り、

※注3 復籍・再入学においては、修得単位として評価を得られなかった履修途中科目の学習履歴は、復籍・再入学後に引き継がれません(従来どおり)。

## 2. その他

項目	変更内容等
科目の新設	2013年4月から、以下の科目を新設する 「倒産法」
専門教育科目の卒業要件の変更	2013年4月から、以下のとおり変更する（2013年4月1日に在籍する全ての学生を対象に変更する） <変更前> 選択必修（科目構成単位を充たし8科目） 32単位 選択必修（8科目32単位を超えた単位）+ 選択 46単位以上 卒業論文 4単位 合 計 82単位 <変更後> 選択必修（科目構成単位を充たし8科目） 32単位 選択必修（8科目32単位を超えた単位）+ 選択（卒業論文4単位を含む） 50単位（卒業論文を履修しない場合は54単位） 合 計 82単位（卒業論文を履修しない場合は86単位） ※選択必修科目8科目32単位の卒業要件を充たしていれば、科目構成単位を充たしていない選択必修科目、選択科目の単位（4単位のうち2単位しか修得していない単位）も卒業所要単位に算入する（従来どおり）